

2010年度町田市市政モニター 第2回アンケート集計結果

実施期間 2011年1月12日（水）～2011年1月26日（水）

テーマ 事業仕分けについて

アンケート対象 2010年度町田市市政モニター

対象者数 196名

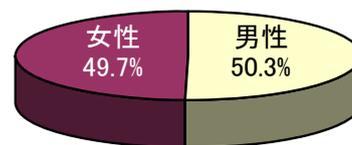
回答者数 163名

回収率 83.2%

回答者の属性

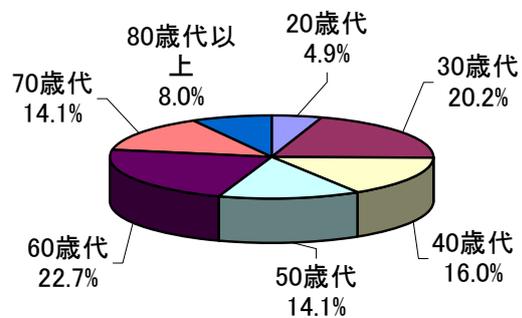
(1)性別

性別	回答数	%
男性	82	50.3%
女性	81	49.7%
合計	163	-



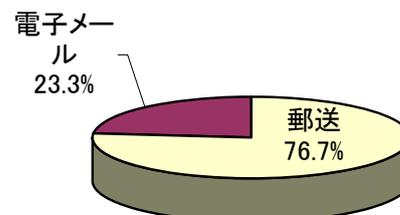
(2)年代

年代	回答数	%
20歳代	8	4.9%
30歳代	33	20.2%
40歳代	26	16.0%
50歳代	23	14.1%
60歳代	37	22.7%
70歳代	23	14.1%
80歳代以上	13	8.0%
合計	163	-



(3)回答方法

性別	回答数	%
郵送	125	76.7%
電子メール	38	23.3%
合計	163	-



事業仕分けについて

町田市では、市で行っている仕事の問題点や課題について、外部の方と市の職員とが公開の場で話し合う、いわゆる「事業仕分け」を2011年度に行う予定です。

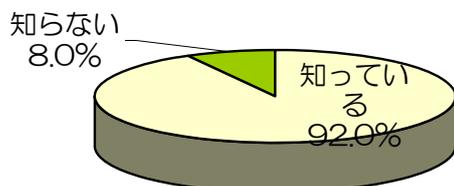
「事業仕分け」は、2002年以降数多くの市町村や県で実施されている取り組みです。2009年に国で行われたことをきっかけに、広く一般に知られるようになりました。町田市でも、2008年7月に1回目の「事業仕分け」を行っています。

国の「事業仕分け」に関する報道からも推測されるように、対象事業の選び方、議論の進め方、結果の活用の仕方など、「事業仕分け」の方法と効果についてはさまざまな議論があるところです。以下の設問では、「町田市版事業仕分け」をより良い方法で行うために、モニターの皆さんのご意見をうかがいます。

※回答が択一または1つのみ選択の場合は「構成比」を、複数選択の場合は「回答比」を表示します。

Q1 あなたは「事業仕分け」を知っていますか。

	回答内容	回答者数	構成比
👑	知っている	150	92.0%
	知らない	13	8.0%

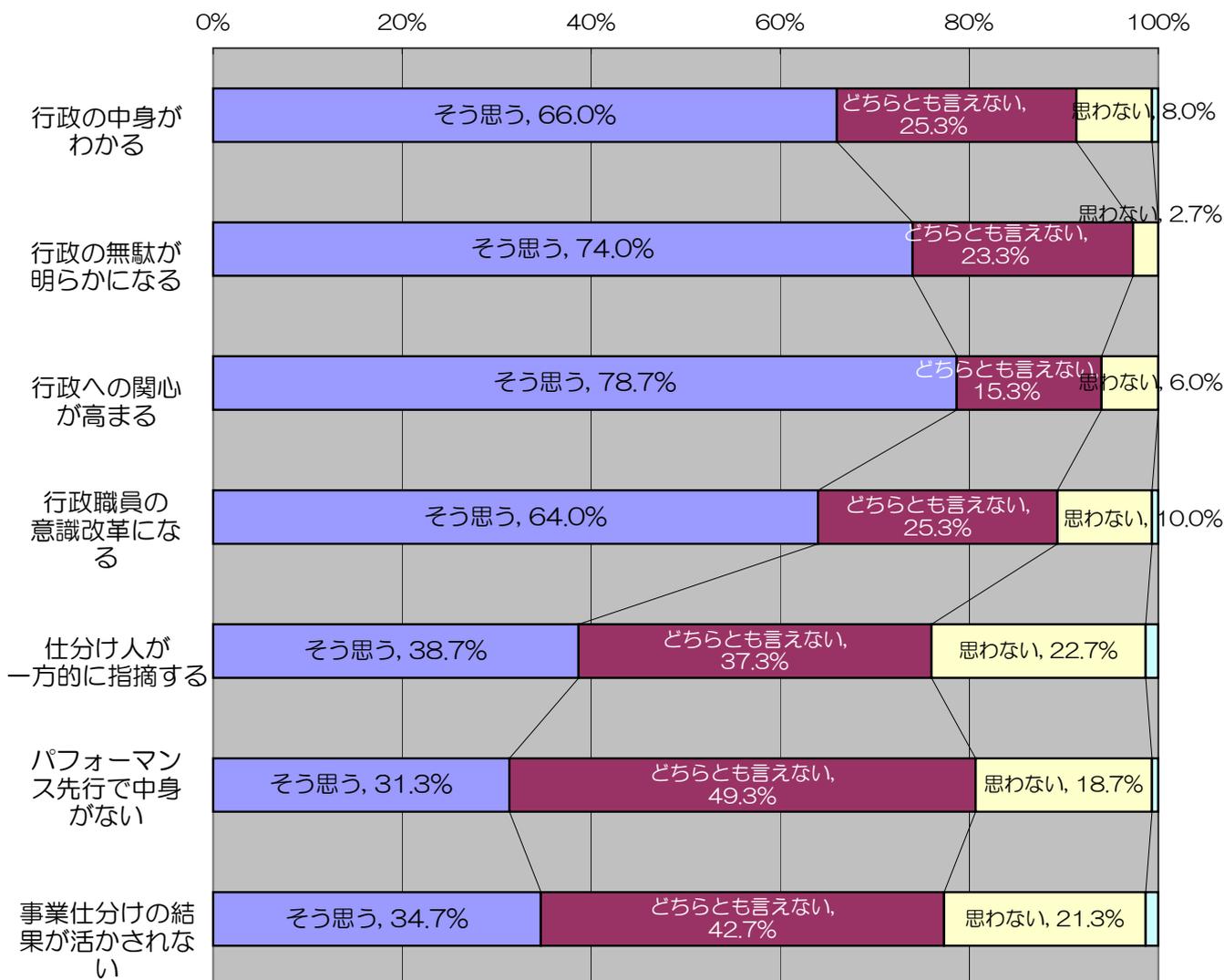


… 約9割の方が、「事業仕分け」を「知っている」と答えています。

Q2 Q1で「知っている」と答えた方にお聞きします。

「事業仕分け」に対し、どのような印象を持っていますか。

あなたの考えに近いものを、それぞれ1つずつ選んでください。

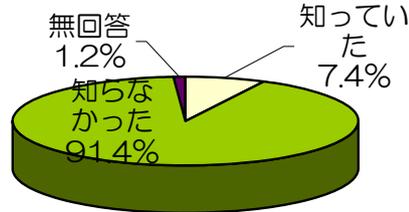


事業仕分けの印象は、「行政への関心が高まる」が一番多く、次に「行政の無駄が明らかになる」が多かった。

Q3 全ての方にお聞きします。

町田市が2008年7月に「事業仕分け」を実施したことを知っていましたか。

回答内容	回答者数	構成比
知っていた	12	7.4%
👑 知らなかった	149	91.4%
無回答	2	1.2%



☰ 町田市の事業仕分けを知っていた方は、わずか7%で、大部分の方は「知らなかった」と答えています。

Q4 Q3で「知っていた」と答えた方にお聞きします。

町田市で「事業仕分け」を行ったことは、何で知りましたか。

(いくつでもお選びください)

回答内容	回答者数	回答比※
👑 広報まちだ	8	66.7%
町田市のホームページ	1	8.3%
新聞	1	8.3%
インターネット	0	0.0%
知人から聞いて	2	16.7%
その他	0	0.0%

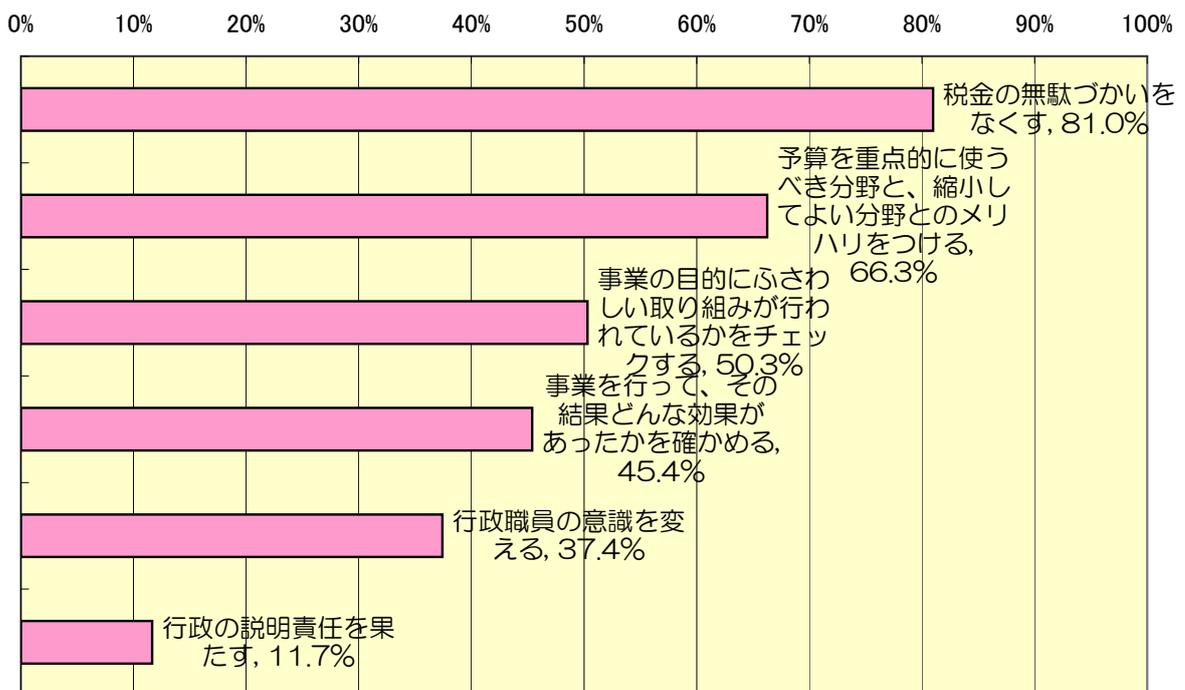
※Q3で「知っている」と答えた方の回答比です。

Q5 全ての方にお聞きます。

町田市の次の「事業仕分け」に、どんな効果を期待しますか。

あなたの考えに特に近いものを、上位3つまで選んでください。（3つまで）

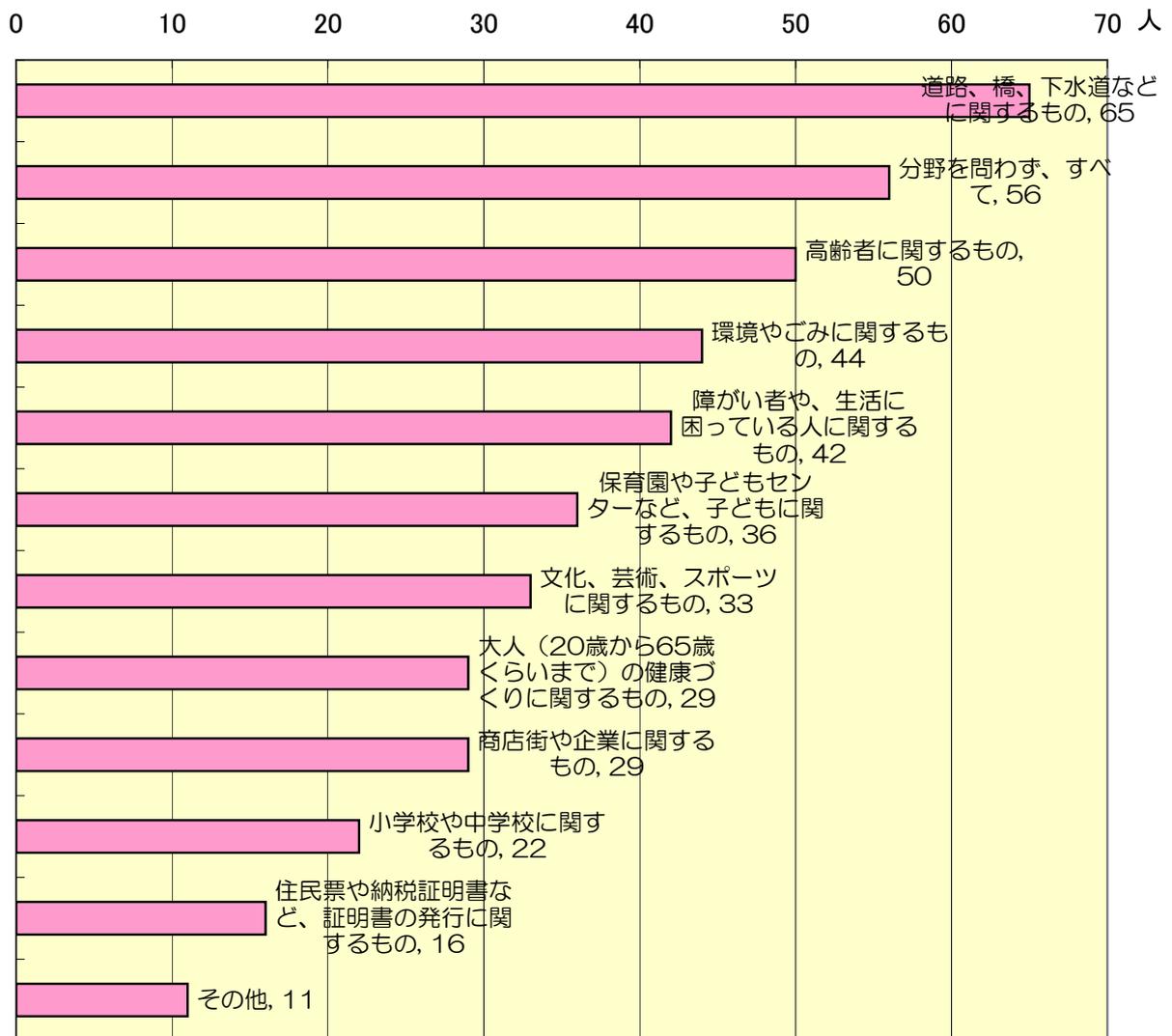
回答内容	回答者数	回答比
税金の無駄づかいをなくす	132	81.0%
予算を重点的に使うべき分野と、縮小してよい分野とのメリハリをつける	108	66.3%
事業の目的にふさわしい取り組みが行われているかをチェックする	82	50.3%
事業を行って、その結果どんな効果があったかを確認する	74	45.4%
行政職員の意識を変える	61	37.4%
行政の説明責任を果たす	19	11.7%
その他	0	0%



町田市の事業仕分けに期待することは、「税金の無駄をなくす」と「予算を重点的に使うべき分野と、縮小してよい分野とのメリハリをつける」と答えた方が多かった。

Q6 町田市で「事業仕分け」を行う場合、どんな分野を対象にしたらよいと思いますか。
対象にすべき分野を、上位3つまで選んでください。（3つまで）

回答内容	回答者数	回答比
道路、橋、下水道などに関するもの	65	39.9%
分野を問わず、すべて	56	34.4%
高齢者に関するもの	50	30.7%
環境やごみに関するもの	44	27.0%
障がい者や、生活に困っている人に関するもの	42	25.8%
保育園や子どもセンターなど、子どもに関するもの	36	22.1%
文化、芸術、スポーツに関するもの	33	20.2%
大人（20歳から65歳くらいまで）の健康づくりに関するもの	29	17.8%
商店街や企業に関するもの	29	17.8%
小学校や中学校に関するもの	22	13.5%
住民票や納税証明書など、証明書の発行に関するもの	16	9.8%
その他	11	6.7%





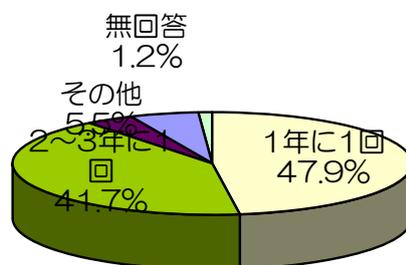
事業仕分けの対象は、「道路、橋、下水道に関すること」と「分野を問わず、すべて」と答えた方が多かった。

「その他」のご意見（抜粋）

- ・市役所内すべて
- ・人件費を削る方法。
- ・天下りやファミリー企業に関するもの。
- ・しつけの出来ないお子様のため、保育園・小学校・中学校の先生方に頑張れる環境を。
- ・分野にあまりこだわらずに行うことも大切かと思います。
- ・減税につながるもの。
- ・質問の出し方が悪い。
- ・生活保護を受ける人たち、まだ働ける人たちがいます。もう少しきびしく、働く所がない場合はボランティア等してもらっても良い。少ない年金で生活している人もいる。
- ・個人情報教えられないということがあまりにも多すぎ、非常に不便になった。
- ・委託している事業について全て。
- ・市議会や行政上の付属団体。

Q7 町田市の「事業仕分け」は、どのくらいの頻度で実施すべきだと思いますか。下記から1つ選び、その理由をお書きください。（1つだけお選びください）

回答内容	回答者数	構成比
👑 1年に1回	78	47.9%
2～3年に1回	68	41.7%
5年に1回	6	3.7%
その他	9	5.5%
無回答	2	1.2%



約半数の方が、「事業仕分け」は毎年実施すべきと答えています。

上記を選んだ理由をお書きください。

「1年に1回」（抜粋して掲載）

予算に反映させるため

- ・ 予算に反映できるものであれば、予算編成前に実施することがベターであろうと思います。
- ・ 予算作成時に合わせて、毎年やるべきと思う。「事業仕分け」の結果がすぐ効果として表れない事項があるので、常にチェックする必要ありと思います。
- ・ 毎年の予算編成に反映してもらいたいから。
- ・ 年度予算の実施状況が仕分け別にはっきり出来ることで、次年度の予算編成に活用して修正をする。
- ・ 前年度の実績を元に予算を立てるタイミングで実施するのが効果的だと考えるから。
- ・ 予算を定める時期は大体決まっていると思いますので、それより4～5ヶ月前には各部署の予算の使用状況がわかっていると思いますので、仕事内容の分かる人が部署の中から一人でも仕分け人に入ると良いと思います。
- ・ その年の予算ごとにやったほうが良いため
- ・ 予算案に反映させるため、不断の持続的・発展的努力が要請される。「日本一の町田」にするために。
- ・ 予算は1年ごとに作られるので、それに合わせての仕分けという意味で。
- ・ 予算編成時(毎年)適切と考える。
- ・ 予算を組む上で、前年度の効果を知らせ、確認し合い、次年度につなげることができるので、1年に1回程度にし、全分野で順にやっていくのがいいと思います。
- ・ 予算を計上したものについては、正しく使われているか、1年ごとにチェックをすべきだと思う。

(全分野が1年1回でなくてもいいですが…)

結果の検証のため

- ・ 単年度の事業はもちろんのこと、複数年度に渡る事業であっても、計画に対する進捗状況、費用明細、効果予測の変化等のチェックが必要であると思われるため。
- ・ どのような分野を仕分けするか全体的な計画をたて、各年度毎に重点分野を決め1回/年行う。
- ・ 毎年改めて、事業を見直し、確認し、これからの計画を立てることが必要だと思う。
- ・ 仕分け作業の中身を、定期的に見直す必要があると思うから。
- ・ 定期的に行い、結果・検証が必要なため。
- ・ 事業計画は長期にわたっている場合がありますが、予算は1年ずつ決めて実行していきます。事業計画は途中で見直しをして必要ならば変更も可能だと思います。
- ・ 事業仕分けされたものが、実行されているかを毎年チェックしていくため。
- ・ 継続性に意味がある。又、権限を明確にし、プラン、ドウ、チェックを完全に行ってほしい。
- ・ こまめにチェックし、緊張感を維持する必要があると思うので。
- ・ 事業の経緯と結果の確認のため。

「1年に1回」（抜粋して掲載）のつづき

- ・事業仕分けした成果のチェックが必要であり、何回やり直してもいいのではないかと思う。
- ・年に何回も仕分けても結果を把握出来ない
- ・その年の状況がわかって、何をどのように使ったとか、動きがわかる。
- ・「事業仕分け」は「費用対効果」を判断して仕分けると考えられるので、仕分け効果を上げるには、毎年実施したほうがよいと思います。また、「事業仕分け」と「監査」との相乗効果を上げるべきで、重複行政は出来るだけ避けるようすべきだと思います。
- ・継続してやるのが、効果を上げるためにも大切であるとする。
- ・一度事業仕分けを行った後に、最低1年位は様子(状態)を見て、その結果をまた事業仕分けするようにのほうが効率的だと思う。(無駄がないと思います。)
- ・2～3年周期でテーマを決め、毎年実施すればきめ細かなことが出来るかと思う。
- ・事業仕分けの結果を早く知るため。
- ・毎年行って、その事業の効果が出ているかなど再認識していく必要がある。
- ・各年度の仕分け対象をある程度絞り込み、仕分け⇔結果の検証を行い、短いサイクルで仕分けの効果が出る必要があると思います。
- ・結果を早く知って、次に進む。
- ・少なくとも年1回は市民の税金が適正に配分され、それなりの効果が上がっているか年1回(最低でも)の議論が必要と思う。
- ・毎年実施し、マイナス・プラス両面を検討し、改革・改正できるものはすべきためにも、年1回の実施が必要と考える。
- ・少しでも効果の実態を市民に知らせたほうが良いと思う。
- ・継続的に進める事業については、邪魔かもしれないが、スパンが短ければ修正も早くできるように思った。
- ・やはり毎年行い、しっかりとした事業が行われているかを見るべきだと思う。
- ・年に1回くらいやらないと効果がない。
- ・毎年見直して、町田市をより住みやすい街にしてほしいから。
- ・1年に1回見直すことで、正しい判断だったかどうかの材料になると思うので。

職員の意識改革のため

- ・事業仕分けに労力を注ぐことが無駄かも。公務員の意識改革が事業仕分けによって生まれてくるのでは。公務員は最近優秀な人材が集まっているので期待します。
- ・職員の意識をきちんと持たせるためにも、定期的に行ったほうが良いと思う。
- ・仕分けにより事業効果を見極める作業が大切だと思う。定着するまではしばらく続け、職員の意識を変えていく。
- ・全ての事業をする必要はないが、3年に1回くらいは全てやるべき。税金の無駄遣いをチェック、職員の意識改革にもなる。結果と効果を確認する。

「1年に1回」（抜粋して掲載）のつづき

税金の無駄をなくするため

- ・税金を正しく、公正に使うため。
- ・家計簿と同じものだと考えて、みなさんから預かった税金を生きたお金で活用させると
思うなら、こまめにやれるはずと思う。
- ・税金の無駄遣いをどんどんなくしてほしいから。
- ・すべての分野を対象にした場合は、1年に1回は必要だと思います。
- ・年度ごとの事業に反映するべきであるから。
- ・会社でも呼び方は違いますが、経費（予算）の配分は毎年やる事です。当たり前だと思います。
- ・どんどんやっていかなければ、ムダがなくならないと思う。
- ・無駄な所は、早めに仕分けしてもらいたい。必要となった所にもフォローをしてもらいたい。
- ・期間が空き過ぎると、無駄が増えそう。
- ・あまり間を空けると、意味がないように思います。
- ・事業仕分けとは、無駄を省くための方法であって、何が無駄かはお金の流れの根をさぐれば
いいと思う。基本は、天下りで必要の無い部署を無くすこと。
- ・年末になってくるほど、道路・下水などの工事をお見かけします。もちろん劣化している
ところは直すべきですか、物より本当に困っている人間を優先させてもらいたいと願う
ばかりです。そんなに人の集まらないフェスをやるよりは、その分貯まった税金で保育園
を作ったほうが、市民の生活も向上されると思うし、収税も増えるのではないのでしょうか？
- ・毎年見直して、翌年の無駄を削減する必要があると感じられるから。
- ・毎年継続することで、行政の無駄を常に考えるようにして欲しいので。その場合、
長期的な計画と、短期的すなわち緊急性を要するものに分類する必要があると思います。
- ・無駄の事業をなくすため。

時代の変化に対応するため

- ・移り変わりの激しい時代なので、1年に1回くらいは行ったほうが良いと思う。長いスパン
での政策なども、その中間報告の場として、そういう機会があっても良いのではないか。
- ・急ピッチで進んでいる現代には、年1回がよいのではないのでしょうか。
- ・世の中の変化のスピードは早いので都度見直したほうが良いと思います。
- ・住民意識と世論の動向と変化を確認すべし。同時に中期・長期の動向を推測すべし。
- ・時代の変化に対応するため。

「1年に1回」（抜粋して掲載）のつづき

その他

- ・ 諸々の行政の仕事が大変だと思うので、1年に1回が妥当かと思います。それで充分。
- ・ 準備にも時間が必要だと思うので。
- ・ 節税や行政職員の意識改革や事業実施の効果について公になる。仕分けの対象はすべての分野がのぞましいが予算規模の大きいものから重点的におこなう。
- ・ 毎年で必要であるかを仕分けする必要があると思う。
- ・ 他は期間が長すぎるといったため
- ・ 区切りが良い。あまり長期だと担当者がかわってしまい意味がなさそう。1年に1回くらい振り返らないと動きが遅すぎる。
- ・ せめて1年に1回しなければ、最初だけで何の意味もなくなってしまいます。国と同じでは困ります。決めたら、権限(やめさせる)もしっかり持たせなくては、言うだけ、会議するだけにならないようにしていただきたい。
- ・ 5年に1回くらいになると、無駄なことがあっても慣例となってしまうから、1年に1回のほうが良いと思う。

「2～3年に1回」（抜粋して掲載）

- ・ 年に1回では、結果がまだ出にくいと思うから。
- ・ 毎年やると資料作りにおわれ、本来すべき仕事が出来なくなると思う。
- ・ 1年では頻度が多いかも。
- ・ 1年では、その事業に対する取り組んだ意義や費用効果・問題点が鮮明にならないと思われる。2～3年は継続したほうがよい。
- ・ 1年では結果がでないのでは・・・。
- ・ 事業仕分け後、どのような変化があったかを見るために毎年は必要ないし、5年に1回だと期間が長すぎるような気がします。
- ・ 事業仕分けの結果を実践するには、それなりの時間がかかるので、評価するにも数年は必要であると思うから。
- ・ 1年では効果ははっきりわからない事項も多いと思うため
- ・ 最初の何回かは検証を重ね精度の向上を図り恒常的な制度にする為回数を重ねる必要があると考えます。
- ・ 開催頻度が多すぎたり少なすぎたりは良くない。5年に一度は少なすぎる。1年に一度は少なすぎる。2年から3年に一度くらいが良いのではないか。
- ・ 1年に1度では、結果(成果)を出すのに期間が短いと思うし、5年では長いと思うので、2～3年に1度が適当と思います。

「2～3年に1回」（抜粋して掲載）

- ・ 1年に1回でもいいとは思ったのですが、時間と費用が無駄になるかと考えました。また、5年に1回では時代の変化に対応できないのではないのでしょうか。
- ・ 1年では途中経過であり、ある程度の期間で見直さないと問題点は出てこないと思うから。
- ・ 結果が出始めて、仕分けの必要性がわかる。
- ・ 1年では、結果が出ないと思うので、2～3年あれば、その結果がわかると思います。
- ・ 1年に1回出来れば望ましいが、結果が正しく表れるには2～3年の時間が必要と考えます。5年に1度では、意味がなくなると考えます。
- ・ 1年に1回の方が良いと思うが、色々大変そうなので、せめて2～3年に1回は、問題点・課題をきちっとチェックすることが好ましいと思われる。
- ・ 1年1回ではサイクルが短すぎ、実績、効果などを見極めることができない。その結果より仕分けをすることが目的になってしまう懸念がある。逆に5年では長すぎて対応の遅さ、無駄の冗長になりかねない。
- ・ 1年に1回ずつだと、実施することに意義があるというカンジでなあなあになってきそうなので…。5年に1回だと、決まったことをまたやる5年後までに実施すればいいやという気になってしまっても困るし、長すぎるから。
- ・ 効果や仕分けの手法の反省を十分確認してから、次の仕分けをすべき。
- ・ 見直し(検証)の期間が必要だと思うので、2年に1回程度が良いと思う。
- ・ 毎年ではその効果もはっきりと出ないと思うし、5年では長すぎる。
- ・ 1年に1回だったら少し短すぎるので、2～3年に1回事業仕分けをしたら良いのではないですか。
- ・ 1年に1回では効果や結果を検討するには早いような気がするが、5年に1回ではほったらかし過ぎな気がする。
- ・ 1年に1回・・・事業を行った結果がわからないと思う。5年に1回…少し期間が長いと思う。
- ・ 評価するには一定の期間が必要だと思うので、2～3年がちょうどいい期間かと…。
- ・ 年1回だとマンネリ化になりそうで、2～3年に1回が良い。
- ・ 時勢に合わせ2～3年に1度くらいは見直しが必要に思う。
- ・ 仕分け実施対象への反復仕分けが必要だと思います。それを考えた場合1年では短すぎ、5年では長すぎると思われたため。
- ・ あまり短いとしっかり出来ないと思うから、充分2、3年かけて見直すことが必要と思うから。
- ・ 1年に1回では、成果等効果が確認できないのではないかと考え、2～3年に1回としました。
- ・ 1年に1度では、その効果・成果がわからない。3年くらいみれば、それが良いか悪いか大まかに数字に出ると思うから。

「2～3年に1回」（抜粋して掲載）

- ・ 1では結果がはっきりと出せないものが多い。2はちょうど結果もわかり見直せる。3は長期で見るものは良いが、すべてでは長すぎる。
- ・ 頻度が短か過ぎもなく長過ぎもない期間
- ・ 1つの事業の成果が出るまでに、1年だと短すぎると思うのと、5年だと間が開きすぎるのでは、と思ったため。
- ・ 毎年では大変だと思うが、2～3年に1回は見直す必要があると思うから。
- ・ その結果が1年ではわからないので、2～3年にといます。
- ・ 1つの仕分けをよく調べて、良い解決を見つけてほしい。
- ・ 準備時間と結果の検討に手数がかかるから。
- ・ 町田に住んで25年、気に入っていますが、他の町からうらやましいと思ってもらえるように、すべてに努力していただきたい。
- ・ 普段、勉強不足であまり役に立たなくて申し訳なく思います。
- ・ 実施状況・結果等について、十分に検討・反省の上、次に進むべきと考える。
- ・ 仕分けの事前準備や、結果の反映状況を測定するためにはそれなりの期間が必要だと考えるから。
- ・ 事業仕分けをして出た結果を実現すると、効果が出るまでには2～3年かかりそうだから。
- ・ 気の緩み、慣れ等を無くす為。
- ・ 仕分けの効果判定には、時間を要すると思われる。
- ・ 効果を見ながら。
- ・ 成果を見る。
- ・ 多少なりとも結果を見て、次の参考にする。
- ・ 結果と効果を確認のため。
- ・ 短期間では事業の成果がわからない。
- ・ 仕分けたもののその後を見極める上でも、2～3年に1回くらいが望ましいと思います。
- ・ 仕分け後、2～3年は経たないとその結果がわからないと思います。
- ・ あまり頻繁にやるより、2～3年経過を見て実施すると良いと思う。
- ・ 事業の成果を出すためには、最低このくらいの期間が必要だと思われます。
- ・ 2～3年見てみないと効果が分からないものもあるから。ただ、1年に1回くらい中間報告を行って、今後も続けてよいかどうかジャッジする場を作って欲しい。
- ・ 短期的に結果や効果を出せる事業ばかりではないと思うので、2～3年に1度位が適当だと思う。
- ・ 仕分けしてからその結果を見るまでに、2～3年毎くらいがちょうど良いと考えるから。
- ・ 3年くらいのスパンで効果を見ながら、無駄な部分も見つけていくのがよいのではないか。
- ・ 事業仕分けの効果を見るのに、この位の期間が必要だと思うから。

「5年に1回」（抜粋して掲載）

- ・頻繁にやるとそれにかかわる時間や経費に負担がかかるので
- ・毎年行うことが望ましいが、すぐに結果が出るものばかりではないと思うので。
- ・仕分け後の計画変更、立案そして実施、そしてその結果をみるには、5年くらいかかると思います。そのため、計画変更の際には慎重をきしたいと思います。私共の知っている言葉の中に、事業計画に際しては、段取り7分残り3分が実施期間という言葉がありますが、その通りと思います。
- ・事業仕分けをした後の結果・成果がでるのにある程度時間がかかると思うから。
- ・長いスパンで見えていかないとわからないかな？と思ったから。
- ・期間があまり短すぎると結果が変わりやすいため。

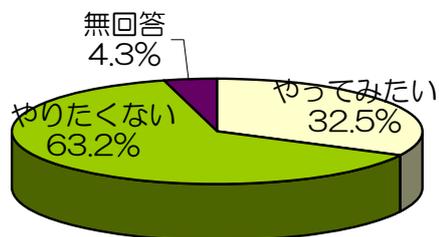
「その他」（抜粋して掲載）

- ・【頻度】対象となることがある時に。【理由】1年に1回だと、1年間は現状のままなので。
- ・【頻度】事業分野ごとに頻度を変える。Ex. 道路→2～3年に1回 社会保障→5年に1回
【理由】年数を一定化してしまうと、効果が出たのか分からない事業についても廃止するといったことが発生し、かえって無駄になる。また、事業仕分けまでにいい成果を出そうと役人が無理をやって、事業自体が中途半端になりそう。
- ・【頻度】1年に2回【理由】行政の内容を市民が知る機会を増やすため。
- ・【頻度】「事業仕分け」対象によって異なる。【理由】仕分けは終点ではなくスタートですから、「仕分け内容の結果の新事業内容」実施しての結果、仕分けが正しかったのか等の報告・発表を考えると「その他」です。
- ・【頻度】分野や行うものに依じて変える。【理由】1年に1回くらいのペースで、見直しを含め実施したほうが良いと思う。分野によっては、2～3年くらいのスパンで実施したほうが良いものもあると思われる。
- ・1度開催した事項の結果を発表したあとでなければ、2度目の開催は無駄。
- ・年に2回は必要。とても年に1回では結果が出せない。パフォーマンスで終わるだけ。
- ・回数より中身だと思います。
- ・必要なとき開催すれば良いと思います。

Q8 町田市の次の「事業仕分け」は、市民感覚をより重視したものにするため、市民の方にも、いわゆる「仕分け人」として議論に参加してもらうことを予定しています。

あなたは、2011年度の町田市の「事業仕分け」で、「仕分け人」をやってみたいと思いますか。

回答内容	回答者数	構成比
やってみたい	53	32.5%
やりたくない	103	63.2%
無回答	7	4.3%



約3割の方が、「仕分け人」をやってみたいと答えています。

Q9 あなたが「仕分け人」をつとめると仮定して、不安に思うことはどんなことですか。
(いくつでもお選びください)

回答内容	回答者数	回答比
準備が大変そう	92	56.4%
議論についていけないのではないかと	78	47.9%
内容が難しそう	67	41.1%
事業の当事者から批判されるのではないかと	25	15.3%
その他	29	17.8%

「その他」のご意見（抜粋）

- ・小さい子供がいるので、時間を作れるか。
- ・仕事を休めない。
- ・予定が合わない。
- ・第三者として、内容を理解してからでないと、意見は出せない。

「その他」のご意見（抜粋）のつづき

- ・ 仕事をしているので、時間的に難しい。
- ・ 特にありません。
- ・ 時代に対する年代別のものに対する考え方の違い。
- ・ 高齢のため。
- ・ 現状重視か将来重視か、または、何のための事業仕分けか。
- ・ 調査が出来ない。
- ・ 予算の仕組みや内容を十分に理解していないで仕分けはできないと考えています。
- ・ 仕事との両立が出来るか心配。時間的な制約の中で、責任を持ってやれる自信がない。
- ・ 日々、忙しいので参加できそうにない。
- ・ 時間が取れなさそう。勤めているので。
- ・ 内容を熟知していないのに、いい加減な仕分けはできない不安がある。するなら事前に学習しておくべき。
- ・ 仕事との都合がつくかが不安。(休日ならOK)
- ・ 主人が在宅介護ですから。
- ・ 現在、何が行われているのかわからないので不安である。
- ・ 行政そのものが幅広く、内容もよくわからない。
- ・ 仕分けするには、それなりの知識と準備が必要。
- ・ 高齢のため、責任のある仕事は無理だと思います。
- ・ 事業内容を議論するほど把握出来ていない。
- ・ 事前に勉強しなければいけない。仕事を休むことが出来るかわからない。土・日なら可。仕分けは働いている人のことを考え、土・日に行ってほしい。
- ・ 出産を控えているため
- ・ 仕分け人としての判断基準を持てるかわからない。
- ・ 仕分ける事業の現状をどう把握するか。
- ・ なぜ一番でなくてはいけないかということから説明しなければいけない、形だけの事業仕分けなど無意味。

Q10 その他、「事業仕分け」に関するご意見がありましたら、自由にお書きください。

「事業仕分け」がパフォーマンスにならないようにしてほしい

- ・国でも、事業仕分けはなされていますが、それによって、国民も行政の事や事業の無駄等、大いに関心を持ちました。町田市でも行われているとの事ですので、市民のため頑張ってください。くれぐれもパフォーマンスで終わる事のないように願います。ちなみに私は、大阪・豊中市より転入しましたが、町田市役所へ何度か行って思うのは、とても職員の方々の対応が良く、うれしく思います。余談ですが、新庁舎周辺には、緑をいっぱいにしてください。
- ・「事業仕分け」と聞くと、ただ単に「存続」・「廃止」という言葉が先に行ってしまうくらいがある。事業の内容と目的・目標、これらに対する現時点の成果をわかりやすく市民に示してほしい。(市の広報やホームページで各部署の通信簿を出していたが、これを各事業についてやるのもいいと思いました。)
- ・「事業仕分け」と聞くと、TVで見ている限りでは、スパスパと無駄な事業を切り捨てても、どっかで名称を変え存続させている。そんな印象を持っています。やっても意味がないのかも思っています。もっとシンプルに。国政・市政も家計簿みたいにはうまくいかないと思いますが、根本的な部分では家庭の中の仕分けと一緒に思っています。
- ・パフォーマンスが先行しているように思えます。また、目先の損得ではなく、長い目で見て役に立つのか立たないのかを考えてほしい。一見無駄に見えても必要なこともあるし、そういった意識で仕事をしているかどうかは、その時の議論からはわからないこともあります。よく調べ深い見識を持って議論して欲しいです。
- ・事業仕分けをする場合、何を目的にやるか明確にしておくことが大事かと思えます。いま、政府が行っている事業仕分けはパフォーマンスだけで実態が伴わない稚拙な、言うことだけ言っておしまいとなっている。市で実施する場合、条例でしっかりと反映できるようなシステムになることを望みます。
- ・全てのことをオープンにしていくことが、間違いや無駄使いをなくしていくことになると思いますし、行政に対する理解も深まると思います。事業仕分けの結果がどうなったか示されないと、ただのパフォーマンスになってしまう。
- ・無駄を省くのは大事なことです。省かれた事業のアフターまでちゃんと見て、パフォーマンスだけで終わらないような仕分けであってほしいです。

「仕分け人」について

- ・事業仕分けに取り組み、良い結果のあった市区町村の方に参加していただけるといいかなと思います。

- ・町田市民の中には「事業仕分け」各分野について専門知識を持っている人が数多くいると思うので、公募しそのような方達に市民目線で意見を述べて貰い、それを参考にして実際の行政に活かして行くなどのことができるのではと思う。
- ・事業内容をある程度知っていなければ適任者とはいえないので思いますので、仕分け人を選出にあたっては事前に参加の意見打診して選出していただきたいと思います。
- ・2008年の「事業仕分け」がどのように行われたかはわかりませんが、仕分け人が本腰を入れて仕分けを行った場合、仕分け対象となった事業の当事者から怨まれ、いやがらせのような事を受けることは無いのでしょうか？一般の中から仕分け人を選ぶ場合、身分と安全が保障されなければどうしても遠慮がちな仕分けになってしまうような気がします。だからといって、議員のような高額な報酬を与えることも現実的ではない。それこそ仕分けの対象になってしまう。そこで、一般市民から選ばれた仕分け人が前面に出ず、名前も住所も顔もわからないような形で参加させたいのではないのでしょうか？2008年の事業仕分けがどのように行われたかよくわからないので、誤解等ありましたらお詫びします。
- ・「事業仕分け」は単なるパフォーマンスで行うべきでなく、仕分けが決定されれば極力その予算に反映させるよう配慮すべきと考えられる。仕分け人は、町田市の財政に通じた人で、よく勉強している人を人選してほしい。
- ・事業仕分けを行う仕分け人が、その業務の内容を本当に(充分に)理解しているのか疑問。現政府の仕分け人のやっている事に多くの疑問を持つ。市で行うとしたら、仕分け人に理解しやすいような十分な説明・見分等を行うよう準備が必要と考える。
- ・事業仕分けは現場で実際に何が行われているか？を知らないと思わないと思う。それを知り自分の考えをまとめ仕分けに参加しないといけないと駄目だと思う。そのために用意する時間と労力は相当な負担になると考えられるので会社員の自分では現実無理だと感じる。
- ・仕分け人への興味はあるものの、知識不足・経験不足があり、難しいかなと思います。ただ、小学生の子どもを持つ親としての立場からお役に立てるのであればという気持ちもあります。

「事業仕分け」の市民への周知について

- ・政治に無関心な世代にも、わかりやすく伝えてほしいと思います。ちょっとしたきっかけで、関心を持てると思います。
- ・テレビや新聞などの報道で、仕分ける側ばかりがクローズアップされています。身近な町田市で行われる場合、どのように市民に知らせるかを考えてください。私自身の認識不足があるのですが、実際に市民はどのくらい町田市が事業仕分けをしているのかを知っているのでしょうか。また、仕分けした後にそれに従わず、名目を変えて予算を獲得している行政があるとも聞きます。その意味から、仕分けした後の報告もしっかりして欲しいと思います。

- ・2008年事業仕分けは住民ではなかったため知りませんでした。広報でも事業仕分けをテーマとして、過去にこうしてここまで成果を得ました等、結果をわかりやすく表示されれば次につながりやすいと思います。難しい数字だけではなかなか住民の目にとまらないと思います。(既に出しているのならすみません。)
- ・事業仕分けをするにあたって、前回実施されたことを全くわからず、情報も入ってこなかった。やるからにはもっと大々的に情報を公にしてくださいと、参加したい方も進んで参加できないと思います。情報を流す経路ももっと細かく、市民の方一人ひとりに伝わるような方法を考えて伝えていただきたいです。

税金の無駄を省くための「事業仕分け」を

- ・「事業仕分け」は大変重要な事だと思います。税金が公平に使われ、必要なところ・そうでないところをきちんと見分けることができるための学習が必要であると思います。閉塞感の漂う今日、町田市に居住してよかったと思えるような市政を望みます。
- ・税金（血税）を本当に市民のために使われているか、その内容も誰でもがわかるようにしてほしい。まだまだ無駄な使い方をしている様に思います。毎年3月くらいになると、なぜか色々な所で道路工事が始まるのはなぜでしょうか？予算を使い切ってしまうと、次年度の予算がもらえないからでしょうか？本当におかしいことです。残った予算(残せた予算)は次に回しましょうよ！むしろ、残せた予算が出た部署は褒めるべきです！！
- ・税金で仕事をする役所は、赤字を出してはいけないと思うし、税金が少ない時は、職員の給料・退職金を下げ、税金を納める人をサポートするために税金を使い、税収が増えたら又、給料を上げればいい。そうする為の事業仕分けだと思う。
- ・官から民へという言葉をよく耳にします。とかく非効率になりがちな「お役所仕事」に民間の効率を取り入れていきたいという意味だと思います。官と民の決定的な差は、事業に損益(計算)の概念のあるなしによるものだと考えられます。民の場合、どのようによさそうな事業でも、損益的に成果を生まなければ厳しく律せられ淘汰されてしまいます。また、損益というものさしは、費用対効果が浮き彫りになり、無駄が省かれます。その上に限られた財源に優先順位を明確にしてくれます。官には、公共の福祉という大名題があるので、効率や損益のみで計れない面があることは当然です。しかし、効率・損益という尺度が、とかく放漫になりがちな面を正してくれることは確かです。この官の弱点を正すために編み出された知恵が「事業仕分け」だと思います。仕分けを受ける当事者にとっては、決して歓迎すべきことではないと思います。しかし、自らの思考や仕事ぶりをあえて他人の厳しい視線にさらすことは、客観的には正しいことです。とかく恣意的、放漫、マンネリズムに陥りがちな事業が正され、優先順位が明確になると思うからです。行政が決して歓迎すべきでない事業仕分けを実行する英断と勇気には、心から賛意を表します。多くの市民の支持が得られることは確実だと信じます。

- ・行政の方が真剣に取り組んでくれるのはありがたいと思うけれど、ただ目先の経費削減だけを目的にしまうと、地道な研究・長い時間がかかる研究・文化的な余裕など大切にしなければいけないことも削られてしまうこともあると思う。
- ・税金をまず無駄に使わない。何に使ったか、そこに問題はないか。職員の国民の税金を預かっているという意識があるのか。介護で病院(いい病院・悪い病院・いい先生・悪い先生)のマップを作ってほしい。(つらい思いをしている家族がいっぱいいます。)

「事業仕分け」のあり方について

- ・一方的な事業仕分けでなく、他方面にわたり客観的な事実に基づいて、協議されるべきだと思います。
- ・「事業仕分け」は財政難だからこそ取り上げられるテーマですが、継続してこそ結果が出るものではないかと思いますので、恒久的な実施の検討をお願いします。
- ・市の組織で「縦割り」があり、相談事でも例えば、道路に関しては「交通安全課」道路標識は「警察」防犯灯については「〇〇」などで、話しを持っていく場所がそれぞれ違い、ばあいによっては同じことを何度も足を運ぶことになっている。「縦割り行政」を市民目線で改革してほしいと思っています。
- ・現在行われているような強制権の無いものでは全く意味がない。例えば、取りあげられた「仕分け」を市民の投票対象とし、50%以上(率はその内容に決めれば良いとおもいます。)ならば強制的に実行するなどの実現性のある議論でなければならないと思います。
- ・市の第1回事業仕分けの内容を知りませんが、事業規模(予算規模)と事業の優先順位の決定方法が適切であるか。(0から見直す。スタートする)町田市民の要望事項がどう活かされているか明確にする。
- ・仕分けたとして、また名前を変えてお金を持っていってしまう問題が国会でもあるので、そのあたりをきちんとしていただきたい。
- ・芸術でも科学でも、何も知らない素人が「一番にならなければいけないのですか?二番じゃダメですか」などと言ってる国の事業仕分けを見ていると、日本のように資源のない国は、文化とか頭脳とかで技術で世界と戦っていかなければならないのに、一番になるように頑張らないといけないということを説明しなければならない(する所から始めなければならない)事業仕分けなど何にもならないと思う。それが、そういう仕分けをするのが行政の仕事ではないのでしょうか?
- ・事業仕分けは、事業計画に対するチェックの面が強調されているが、結果に対する評価とその責任の有無も大切だと思われるので、単年度事業に対してはその結果、複数年度に渡る事業は経過と進捗を評価し、無駄であると判断された事業は中止も含め検討すべきと考える。また、事業評価を担当部署の評価、ひいては職員の評価にまで繋げることができれば、職員の客観的な評価制度になり、モチベーションの向上も期待することができる。

- ・事業仕分けを初めて知ったときは、行政の仕事の中身がほんの少しわかったようでいい事だと思いましたが、次の時にまた名前が少し変わったりして元に戻ったりしていると聞き残念でなりません。よろしくお願い致します。
- ・毎年実施して、その事業仕分けにおいて、その結果どのような効果が具体的にあったか（Plan・do・check手法で）事業年度毎に確かめる必要がある。
- ・法的な措置がないということですが、仕分けをした場合には、きちんと実行に移してほしい。
- ・事業仕分けの前に、町田市住民がどの分野を重点的にすすめていくかの希望があるかなどのコンセンサスの形成が必要。私は圧倒的に、福祉、子育て支援（特に保育所）が足りないと実感しています。
- ・町田市の事業に問題は無いと思いますが行政担当者が天下りしているような協会団体が関与する事業は、そこの役員の給与とか待遇の点でチェックし仕分けすることが必要ではないでしょうか。
- ・各事業で予算が適正に使われているかを定期的にチェックする機能は必要だと思います。仕分ける側も、目先の結果ばかりを重視するのではなく、長期的に見て町田市の未来にプラスになると思えるような事業であれば、きちんと予算を振り分ける必要があると思います。
- ・事業仕分けをするときに公開して、誰でも見に行けるようにしたらいいのではないですか。
- ・行政の事業仕分けは、三位一体でなければ意味がない。構造的に見直し、リトマス紙に浮き上がるようなシステムを構築すべし。制度設計の充実をお願いすると同時に歳出・歳入を明確にすべし。
- ・公開の場で行われるならば、一般市民も市政に関心を持つ良い機会になるような気がします。
- ・議論に参加する・しないの前に、多くの人が傍聴人として参加できるよう希望する。
- ・税金は、自由に使っていいお金ではなく、市民の血税であり、細かい備品に至るまで、大切に考えてもらいたい。公共施設で民間ではありえない態度や時間の使い方を見聞きすると、真面目に必死に働くことの意味を、考えてしまう。公務員は気楽でいいねといわれることの意味を、常に考えてもらいたい。
- ・慣例にとらわれず、思い切って見直しを進めて行くことが大事だと思います。携わる方たちの意識改革も同時に必要かと思います。
- ・行政そのものが幅広く、内容も難しく大変でしょうけど、仕分けてきちんと行ってこそその行政職員ではないでしょうか。役所の仕事を見ていると無駄に時間を使っているように見えます。民間は無駄には時間を使いません。もう一度役所内を見回してください。

その他のご意見

- ・国の仕分けを見ている、やりっぱなしという感想しか持てない！役所の方々も頑張っているとは思いますが、一般企業より待遇が良いため、外から見ているとのんびりして、仕分けしても意味があるかというか？

- ・どんな事業が行われているのか、必要なものなのか、市民の生活にとって大事な事業であるかを知ることによって、今までやってきた事業が必要なものかの判断が出来るので、やってもいいと思います。市の事業には、日頃お世話になっているので、職員の方にも感謝しています。税金が良い生き金(税金)で使われ、より住み良い町田にこれからも住み続けたいと願っています。
- ・働く女性が増えていることを考えて、事業仕分けをお願いしたいです。市民センターの日曜の窓口が開くようになったこと、助かっています。例えば、「こつこつ教室」興味はありますが、平日でなおかつ午前と午後に来る日程では参加しづらいです
- ・市議員や市の職員を減らす改革をお願いします。「事業仕分けに関して」では無いが、「市の窓口業務について」ですが、長年町田に住み、まじめに納税してきた住民のために、民間の開発工事(開発にかからないもの含む)に対して、周辺住民に不利にならないように許可を下ろし、住民の意見をよく聴き「よい町づくり」をお願いします。また、生活保護手当等の正しい授与をお願いします。
- ・市のレベルで「仕分け」が行われていたことは知りませんでした。公共の事業は、長期にわたる活動が多いと思われまますので、近視眼的な判断はなじまない部分もあると思います。それでも市民の関心を引きつけ、考えてもらうというのは意味のあることなので、「仕分け」が行われることはよいことではないかと思えます。
- ・自分が思っているほど、公務員は無駄なことはしていないことが「事業仕分け」でわかんと思う。使うべき分野にお金を使って、良い町田になれば「事業仕分け」は成功ではないかと思う。
- ・私は古い人間なので、昔の頃はいくらでも事業仕分けしたかった。特に職員の仕事意識の無さに悔しい思いをした。今は皆、良く働いている。事業仕分けは程々にとっている。いろいろな事業があるが、皆必要な物ばかりで苦慮する。
- ・一般常識とかけ離れた行政業務が多々御座います。その為に心ある公務員の方々が肩身の狭い思いで、異常な慣習に従い業務を遂行されている事に同情申し上げます。その為に、外部からの厳しい監査の目が必要です。国政同様に厳しく、強固な行政改革が必要です。特に外部委託や民間業者への丸投げで、行政は高みの見物が、数多く見てきました。これは何としても潰さなければ成りません。お送りいただきました、「わたしの便利帳」に記載のサービスは、大変良いサービス内容です。削減する必要がある案件は御座いません。但し、もっと活性化させ、利用方法が有効で、サービス向上が必要です。
- ・事業仕分けの頻度を問われていましたが、毎年全てのジャンルをする訳ではないですから、毎年、ジャンルを変えて順番に行っては如何でしょうか。
- ・事業仕分けは過程よりも、仕分けされた問題の結果がどのように実行されているかということで、特に出来なかったケースについて明確に市民に説明していかなければならないと思う。仕分け人には若い人に積極的に参加してもらい市政に関心を持ってもらうには良い機会になるのではないのでしょうか。
- ・事業仕分けを町田市が行ってた事を知らなかったのは、知らないのも悪いがアピール不足か！成果不明か・市民センター業務を統括し、たとえば、神奈川の橋本駅サティ-内相模原市民センターに配置するとかすると、利用しやすく便利だ。

- ・2008年7月の第一回の事業仕分けから例年の行事となっているようには聴いていない。事業仕分けはすべての分野で年一回の実施を行うことがのぞましいが、今後五～六年先の中期的に見て市政予算の増大が見込まれるものを重点的に仕分けする計画を持ちよって毎年一度は必ず行うよう恒例化する実施が望ましい。市の行政の準備が大変だと思うが市民の専門家（会計士、税理士、中小企業診断士、社労士、等）や有識者の協力を得て町田市政が厳しい将来に向けて安定できる基盤の一助になればと願っています。但しこの事業がすべて公開にしてショウ的になる事は望まないが、何らかの形で公に公平的に広報される事を希望しています。
- ・現状を把握し、判断する知識を得るのに時間がかかりそうなので、全てを仕分けするのではなく、各分担するのはどうでしょうか。